ゼファー取付説明書（施工編）

MST100-I

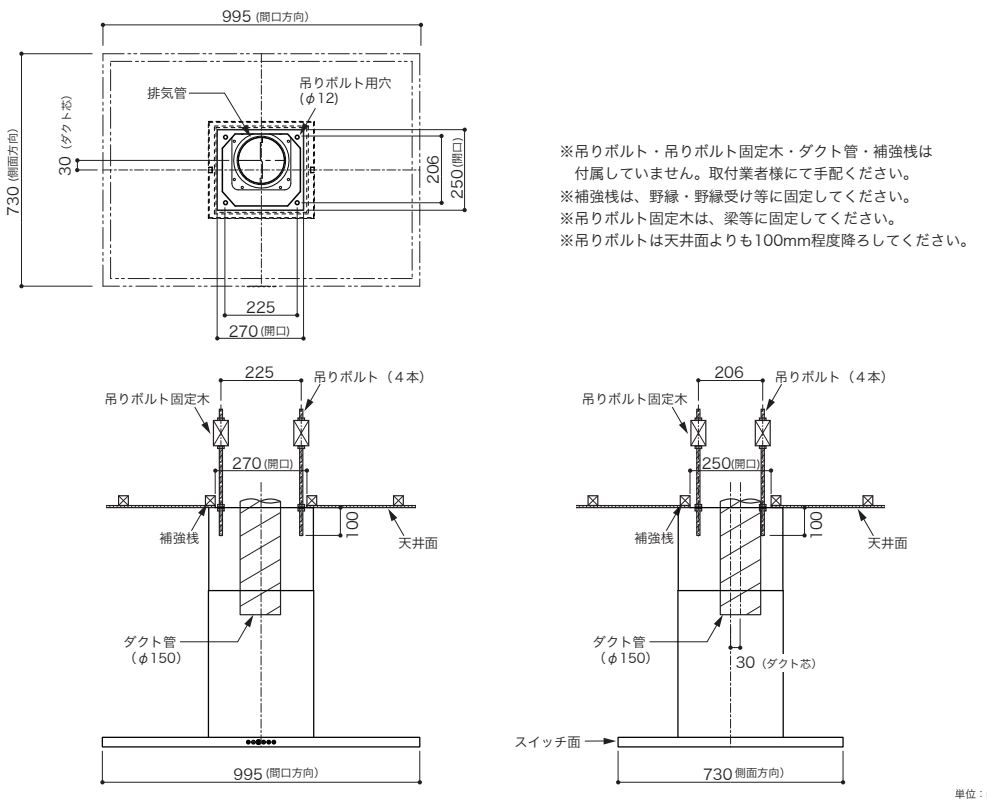
取り付け方法 （取り付けを始める前に、裏面掲載の付属品を確認してください。）

1 取り付け前の確認

（1）施工前の準備
1．裏面「安全編」の 安全上のご注意 や 取付時のご注意 などを良く読んで施工して下さい。
2．裏面の最下段に記載されている付属品が全て揃っている事を確認して下さい。
※別売り部品を購入した際は一緒に確認して下さい。
3．基本工具の他に、No.1ドライバー・M4ナット（二面幅7mm）用のレンチ（ボックスレンチ推奨）・鉄材切断用工具を準備してください。

注1）製品を取り扱う際は薄板の切り口などで手を切る恐れがある為がありますので、必ず厚手の手袋を着用して下さい。
注2）製品を取り付ける際は慎重に行い、傷・変形の無いように注意して下さい。

取り付け要領図

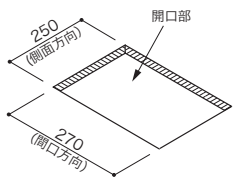


※吊りボルト・吊りボルト固定木・ダクト管・補強桟は付属していません。取付業者様にて手配ください。
※補強桟は、野縁・野縁受け等に固定してください。
※吊りボルト固定木は、梁等に固定してください。
※吊りボルトは天井面よりも100mm程度降ろしてください。

単位：mm

（1）天井面の穴あけ
1．天井面の本体を取り付ける位置にW270×D250の開口をあけてください。(図1)
2．開口部周辺を補強桟で補強してください。
※補強桟は、野縁・野縁受け等に固定してください。（図2）

図1

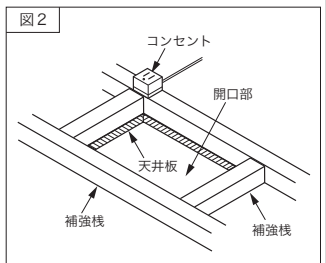


単位：mm

（2）吊りボルトの取り付け
1．本体の取付位置に合わせて、M10の吊りボルト（取付業者様手配）を4本、梁などの頑丈な部分に固定します。
※製品重量は約42kgです。重量に耐えられる位置にボルトを取り付けてください。

（3）排気ダクト管の取り出し
1．φ150mmのステンレスダクトまたはスパイラルダクトを、レンジフードの高さに合わせて取り出します。(図4)
※当レンジフードは、固定枠の上下取付位置を変える事により、製品H寸法が最小600mmから最大800mmまで調整可能となっています。

図2



（4）電源コンセント・ブレーカの確認
1．コンセントは、アース付き3芯コンセント（交流・単相100V）をご使用ください。（図3）
なお、ブレーカは専用のものを設置してください。
2．天井開口部近くの補強桟または、野縁等に専用コンセントを設置してください。（図2）

図3

電源コンセント（3芯）

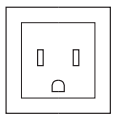
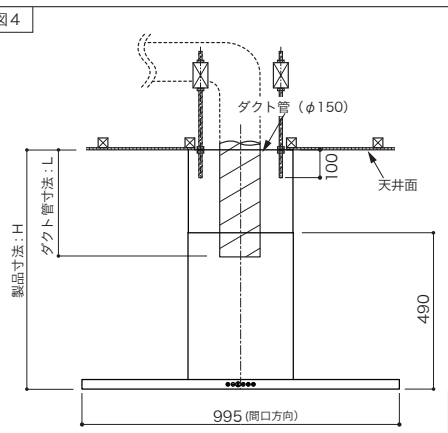


図4



＜例＞

ダクト管長さ寸法図

製品寸法：H	ダクト管寸法：L	
	通常	排気電動シャッター（VE-150）使用時
600	220	155
650	270	205
700	320	255
750	370	305
800	420	355

上記寸法以外の高さの場合は、次式により算出してください。

ダクト管寸法：L ＝ 通常の場合： 製品寸法H - 380
排気電動シャッターの場合： 製品寸法H - 445

(単位：mm)

2 本体及び飾り筒の取り付け

（1）固定枠の準備
※製品寸法：Hを600mmで固定する場合は、固定枠の高さを変更する必要はありません。次項「（2）パイプアダプターの仮止め」へ進んでください。
1．下表を参考に固定枠の高さを確認します。（図5）
2．固定枠のねじ（M4×8、16箇所）を外し、上下枠をスライドさせて、必要高さに合わせます。（図5）
※ねじは裏面のM4ナットと固定してあります。
3．前項で外したねじとナットを使用し、固定枠を取り付けます（16箇所）。

（2）パイプアダプターの仮止め
1．天井面より所定の位置に降ろしたダクト管にパイプアダプター（または排気電動シャッター）を差し込み仮止めします。（図6）
※落ちないように十分注意してください。
※排気電動シャッターを仮止めする場合は、コネクター差し込み口がスイッチ側を向くように仮止めしてください。

図6

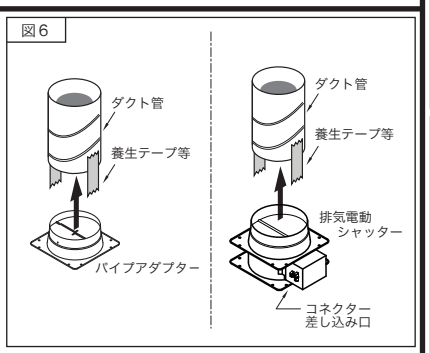
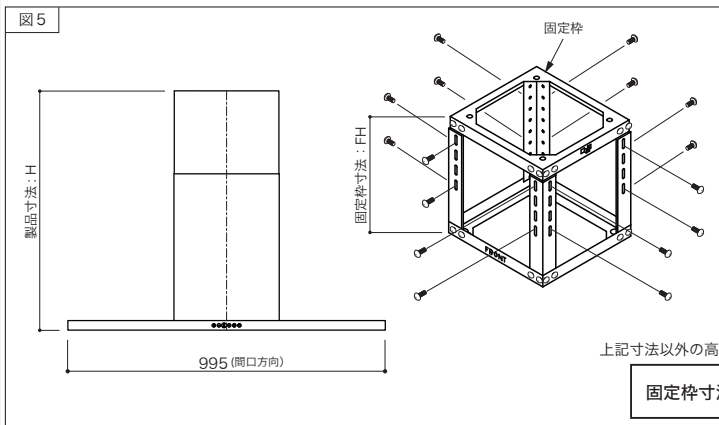


図5



＜例＞

製品寸法：H	固定枠寸法：FH
600	310 (出荷時寸法)
650	360
700	410
750	460
800	510

上記寸法以外の高さの場合は、次式により算出してください。

固定枠寸法：FH ＝ 製品寸法H - 290

(単位：mm)

2 本体及び飾り筒の取り付け

（3）固定枠の固定
1．天井より降ろした吊りボルト（4箇所）に、固定枠の穴を通して天井に押し付け、ボルトの下側からM10ナット（取付業者様手配）をしっかりと締め付けます。（図7）
※この時、固定枠の「 FRONT 」シールが本体のスイッチ側にくるように取り付けてください。

（4）基盤ボックスの準備
1．基盤ボックスが固定されている取付ベースの長穴の2箇所と、ファンボックス天面の1箇所のねじを外します。（図8左）
2．基盤ボックスを取付ベースごと立ち上げ、3箇所を元のねじで固定します。（図8右）

図7

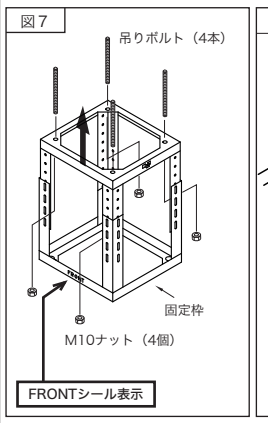
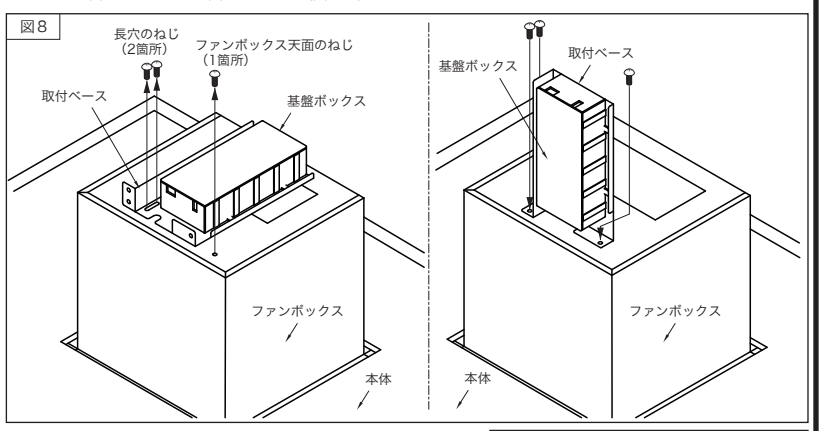


図8

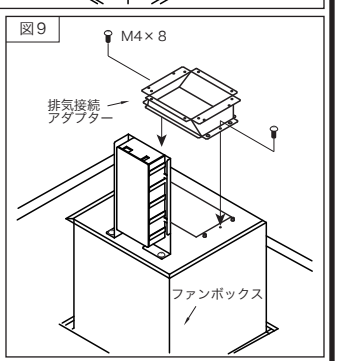


（5）排気接続アダプターの取り付け
1．付属品の排気接続アダプターを付属のねじ（M4×8）2本で本体に取り付けます。（図9）

（6）本体の吊り固定
1．ファンボックス天面のボルト（4箇所）を10mm程度ゆるめます。（図10）
2．本体を持ち上げ、固定枠の「 FRONT 」シール側と、本体のスイッチ側を合わせます。
固定枠のだるま穴（4箇所）に、前項でゆるめた本体のボルト（4箇所）を合わせ、右にスライドさせてボルトを掛けます。（図10）
※この時、基盤ボックスから出ている配線を挟まないように注意してください。
3．上からボルト（4箇所）を締めて、固定枠と本体が確実に固定されたことを確認してください。

（7）パイプアダプターの固定
1．前項でダクト管に仮止めしたパイプアダプター（または排気電動シャッター）の仮止めをはずし排気接続アダプターと付属のねじ（M4×8）4本にて固定します。（図11）
2．ダクト管とパイプアダプター（または排気電動シャッター）の接続部分にアルミテープでテーピングをして風漏れ防止対策をしてください。

図9

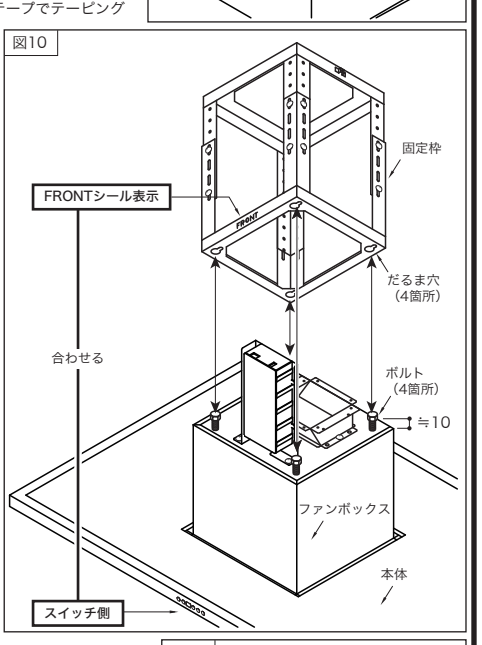


（8）配線の差し込み
1．電源プラグを天井裏などのコンセントに差し込んでください。
2．排気電動シャッターを使用する場合は、シャッターの取付説明書を参考に接続してください。
3．他社製の給気電動シャッターを使用する場合は、本紙裏面「給気電動シャッター用ケーブルの接続」を参考に接続してください。

（9）上部飾り筒の固定
1．2分割されている上部飾り筒をフード本体の前後からかぶせます。（図12）
※分割されている上部飾り筒はどちらも同形状の為、どちらが前でも構いません。
※両側面の上部飾り筒が重なる部分で、大きい穴（φ4.5mm）が手前、小さい穴（φ2mm）が奥になるように重ねてください。
2．上部飾り筒を付属のねじ（M3×5）6本にて連結固定します。（図13）
3．前後を連結した上部飾り筒を、天井面まで持ち上げ、付属のねじ（M4.5×6）2本にて固定します。（図14）

（10）下部飾り筒の固定
1．2分割されている下部飾り筒をフード本体の前後からかぶせます。（図15）
※下部飾り筒は本体に≒10mm落とし込みます。
※分割されている下部飾り筒はどちらも同形状の為、どちらが前でも構いません。
※両側面の下部飾り筒が重なる部分で、大きい穴（φ4.5mm）が手前、小さい穴（φ2mm）が奥になるように重ねてください。
2．下部飾り筒を付属のねじ（M3×5）6本にて連結固定します。（図15）
3．前後を連結した下部飾り筒を、本体と付属のねじ（M4.5×6）2本にて固定します。（図15）

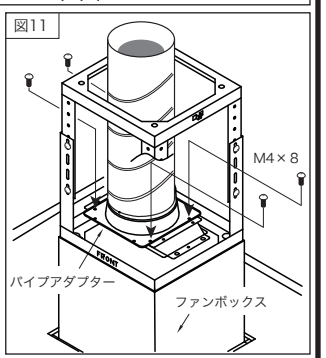
図10



（11）下部目隠し桟の固定
1．付属の下部目隠し桟のツメと、下部飾り筒のスリット穴を合わせて落とし込み、固定します。（図16）
2．反対側も同様に取り付けます。

（12）上部目隠し桟の固定
1．上部飾り筒の高さ寸法：UDHを測ります。（図17）
2．前項で計測した高さ：UDHから−0.5mmの寸法で、付属の上部目隠し桟をカットします。（図17）
※この時、必ず上部目隠し桟の下側をカットしてください。
3．カットした上部目隠し桟を、上部飾り筒に押し込んで固定します。（図18）
4．反対側も同様に取り付けます。

図11



裏面に続きます

図12

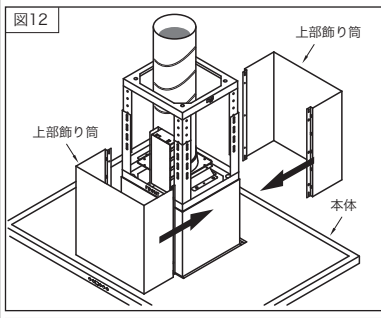


図13

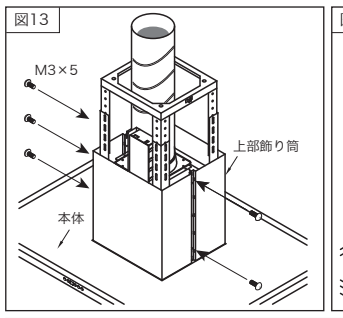


図14

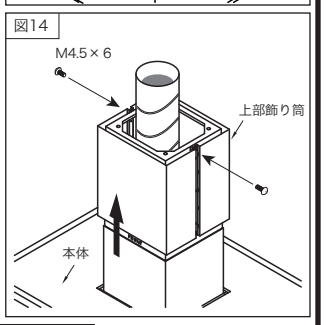


図15

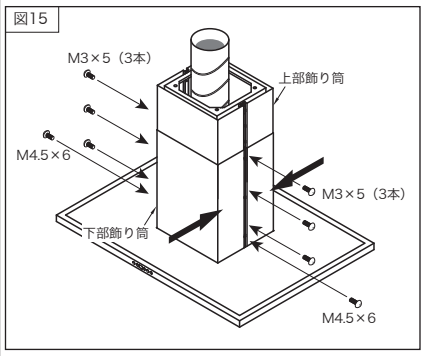


図16

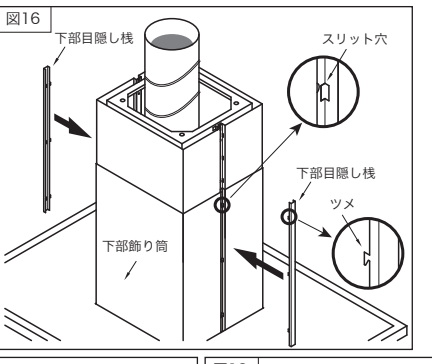


図17

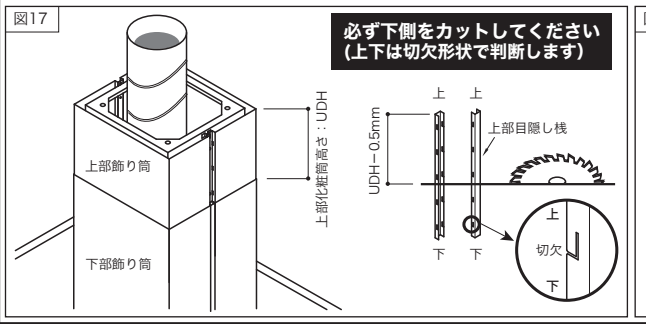
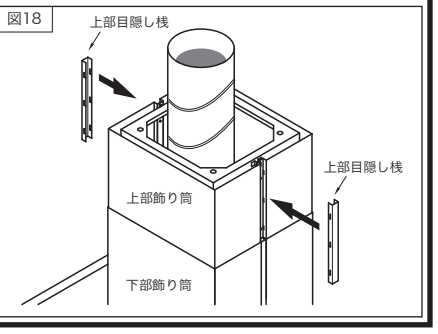


図18



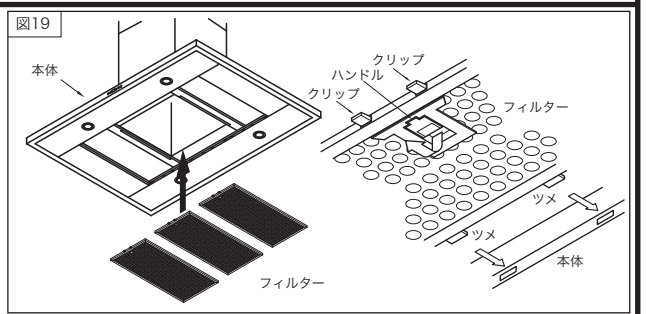
ゼファー取付説明書（施工編続き）

取り付け方法

3　付属品の取り付け

（1）フィルターの取り付け
1．ハンドル面の反対側にツメが2箇所出ているので、本体の穴に収まるように差し込みます。（図19）
2．ハンドルを引きクリップが下がるのを確認後、フィルターを本体に取り付けます。（図19）
ゆっくりと手を離し、フィルターが本体に固定されていることを確認してください。
3．3枚とも同じ方法で取り付けてください。

図19

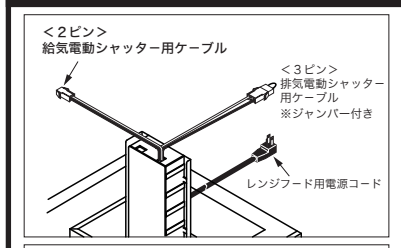


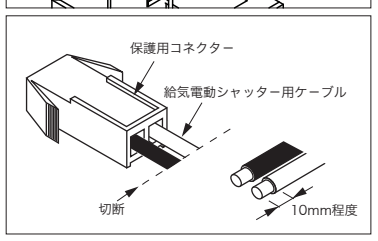
4　試運転

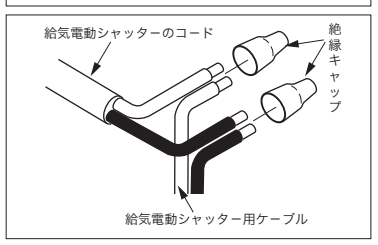
※運転時にファンの中に手や物を入れないでください。怪我・故障の恐れがあります。
（1）本体の操作を「取扱説明書」[ご使用のしかた]に従って正常に作動するか確認して下さい。
※排気電動シャッター（VE150）を取り付けた場合、シャッターが開いてから運転を開始します。
その為、スイッチを入れてから約2～3秒後にファンが回転し始めますが故障ではありません。
（2）運転時、異常な騒音や振動が無いことを確認して下さい。
（3）屋外の排気口より、排気されているか確認して下さい。
（4）弊社製の排気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動し開閉しているか確認して下さい。
（5）他社製の給気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動し開閉しているか確認して下さい。
（6）取付上、施工上に発生した不具合でメンテナンスを依頼される場合、保障期間内であっても有料となりますのでご確認下さい。

◆上記作業が終わりましたら、この取付説明書はお客様にお渡し下さい。

給気電動シャッター用ケーブルの接続（他社製品の場合）







※排気用ファン（レンジフード）と給気電動シャッターを連動させるには、給気電動シャッター側のコードと、給気電動シャッター用ケーブルを接続してください。(接続方法は、下記の要領で行なってください。)

1．給気電動シャッターのコードと給気電動シャッター用ケーブルの接続
（1）給気電動シャッター用ケーブルの保護用コネクター側のケーブルを、ニッパ、ペンチ等で切断し、ケーブルの被覆をめくります。この時、ケーブルの被覆をめくる長さは、10 mm程度にします。

（2）給気電動シャッターのコードと、給気電動シャッター用ケーブルとを絶縁キャップで、圧着して接続します。

注：給気電動シャッターのコード及び、給気電動シャッター用ケーブルの被覆をめくる長さは、絶縁キャップよりはみ出ない様にしてください。

2．試運転
※レンジフードの電源コードを仮設コンセントに差し込んで試運転を行い、下記の内容を確認ください。
（1）レンジフードスイッチの ON/OFFボタンを押して、レンジフードファン（排気ファン）と給気電動シャッターが連動して作動するか確認してください。

●レンジフードスイッチ（1、2、3）のどの位置でも、給気電動シャッターは作動します。又、給気電動シャッターは３A以内のものをご使用ください。
●給気電動シャッター用ケーブルは、入力用電源コードではありませんので、給気電動シャッター以外には、ご使用にならないでください。負荷がかかり過ぎるとスイッチ本体が故障する危険があります。

取付け時のご注意

※排気工事をされる場合、建築基準法（同施工法）および消防法等の関連法規に合わせて施行ください。

1．レンジフードの取り付けは、建物の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の埋込みは、絶対にやめてください。壁内のラス網に漏洩電流がある場合、本体に流れてきます。
2．取り付け高さは、ガスレンジの真上80cm以上になるようにしてください。低すぎると、お台所仕事のさまたげになったり、高熱による故障の原因にもなります。
3．レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また横方向は50Cm以上離してください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。
4．ガスレンジ幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
5．非常に長いダクトあるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますのでご注意ください。
6．レンジフードの重量は約42Kg（仕様により異ります）です。取り付け前に取付部の強度をよく確かめてください。取付部の強度が弱いと落下したり、振動の原因となりますので、補強工事をしたのちに製品を取り付けてください。
7．室温が 40˚ C以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。絶縁が悪くなり、感電する恐れがあります。またスイッチ部分やモーターなどがいたんだりすることがあります。
8．スイッチの改造等仕様を変更してのご使用はさけてください。
9．効率よく換気させるため、排気用ダクトの大きさ以上の空気取り入れ口を部屋の反対の位置に設けてください。とくに、寒冷地などの気密性の高い部屋で、自然排気型のストーブをご使用の時は、空気がストーブ排気口より逆流し危険な燃焼状態になる恐れがありますので、フード付きガラリなどにより、十分給気される配慮をしてください。
※当レンジフードは、給気電動シャッター用ケーブルがついております。必要に応じてご使用ください。
10．部屋の中央で料理される場合は、捕集しきれませんので、台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
11．取り付け後、天井、壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体に保護材を被せてください。

ゼファー取付説明書（安全編）

安全上のご注意（必ずお守りください）

■この説明書は安全上、特に注意していただきたい内容についてとりあげたものです。この[安全上のご注意]をよくお読みのうえ製品を取り付けてください。
■具体的な取付方法については、取付説明書（施工編）をご覧になってください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付けて、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警 告：人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠注 意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- このような絵表示は、してはいけない【禁止】内容です。
- 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

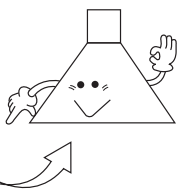
- この絵表示は、必ず実行していただく【強制】内容です。
- 図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

絵表示の例
：左図の場合は、“分解禁止”が描かれています。
：左図の場合は、“電源プラグをコンセントから抜いてください”が描かれています。

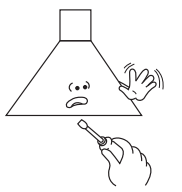
⚠ 警 告

●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に本体、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けること。
漏電した場合、発火したり感電することがあります。
取付注意

●効率よく排気させるには、空気の取り入れ口（給気口）を設けること。とくに密閉された厨房には、ø150㎜以上の給気口を用意してください。（寒冷地では、電動シャッター付給気扇をご使用ください。）
取付注意

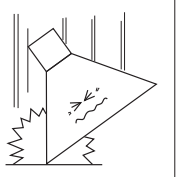


●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。
分解・修理 改造禁止

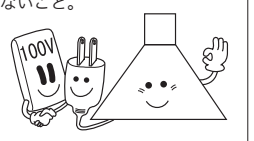


⚠ 注 意

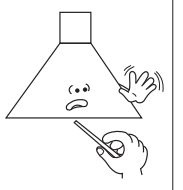
●本体の取り付け及び、部品の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行なうこと。
落下によりけがをすることがあります。
取付注意



●交流100V以外では使用しないこと。
火災や感電の原因となります。
使用禁止



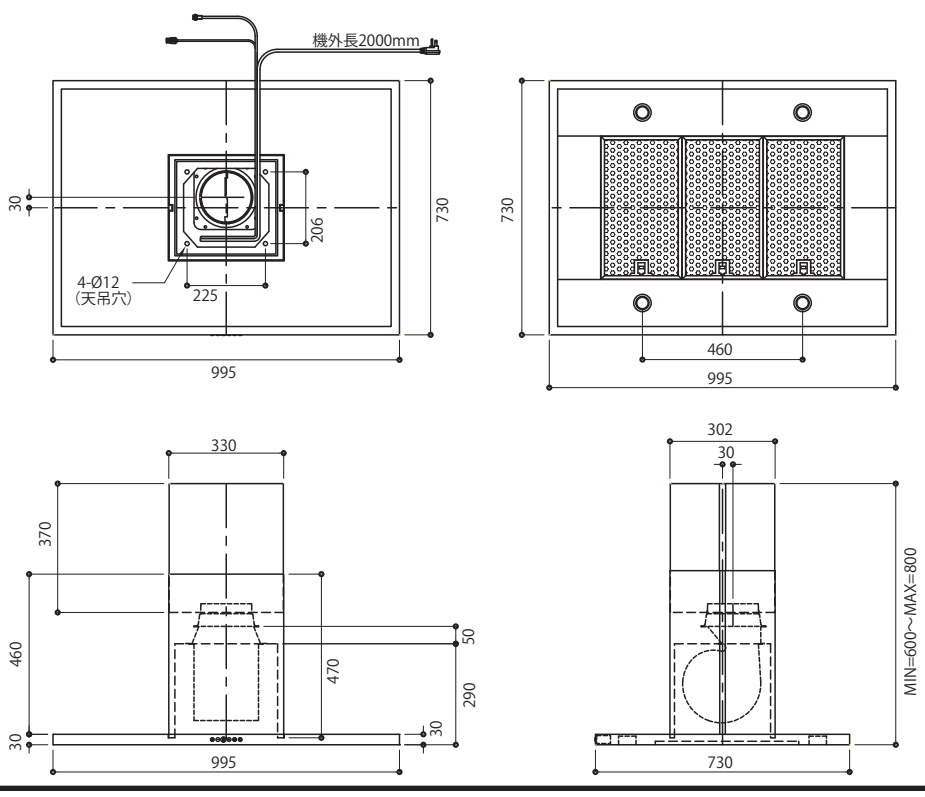
●運転中は、羽根の中に指や物を絶対に入れないこと。
けがをすることがあります。
接触禁止



●電気工事は必ず電気工事店に依頼すること。電気設備技術基準や内線規定に従って安全確実に行なうこと。
誤った電気工事は感電や火災の恐れがあります。
取付注意

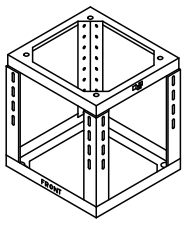
製 品 寸 法 図

■MST100-I

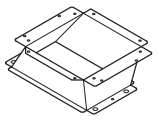


単位：mm

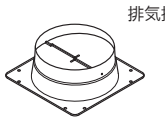
付 属 品



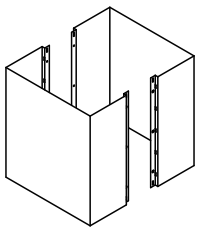
固定枠（1個）



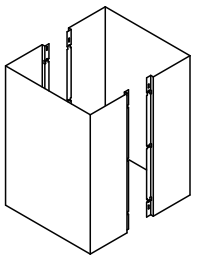
排気接続アダプター（1個）



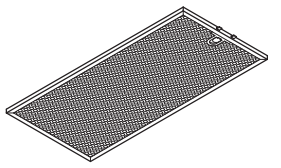
パイプアダプター（1個）
（逆風防止シャッター付）



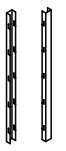
上部飾り筒（1セット）
H=370mm



下部飾り筒（1セット）
H=470mm



グリスフィルター（3枚）



上部目隠し桟（2本）
L=370mm

下部目隠し桟（2本）
L=470mm

トラス小ネジ（M4×8）
パイプアダプター取付用×4本
排気接続アダプター取付用×2本
予備×5本

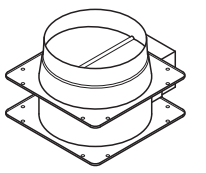
トラスタッピングネジ（φ4×8）
予備×5本

バインド小ネジ（M4.5×6）
上部・下部飾り筒取付用×4本

トラス小ネジ（M3×5）
上部・下部飾り筒連結用×12本

別 売 部 品

排気電動シャッター
（品番：VE150）



ZEPHYR
Yamazen Global Co.,Ltd.
-JUN012014MST100I-